

永福の本欄 2018/3

3月特集



時空を超えて

特集コーナー

時空を超えて



今月はタイムトラベルをテーマにした小説を特集します。海外・国内を問わず、現在・過去・未来を自由に飛び越えるSF作品や、タイムマシンについての本を集めました。日常を離れ、さまざまな時代への旅を楽しんでみませんか。

『時をかける少女』

筒井康隆／著 株式会社KADOKAWA

請求記号:BGツ

ISBN:4-04-130521-7

1967年に刊行されて以来、現在まで世代を超えて読まれ続けている青春SF小説の名作です。映画、ドラマ、アニメと何度も映像化されていますが、原作は未読の方も多いのでは？ 若干文体が古めかしく感じますが、面白さは折り紙つき。収録されている他の二作品もおすすです。



『時空の歩き方 時間論・宇宙論の最前線』

スティーヴン・W. ホーキング／著(ほか)

林一／訳 早川書房

請求記号:421ホ

ISBN:4-15-208583-5

空間と時間に関する近代物理学に關係しているエッセイを収録。タイムトラベル、ブラックホール、重力波といった時間論、宇宙論の最前線をホーキング博士や教授、作家たちが紹介しています。



『冒険の森へ 8 傑作小説大全』

集英社

請求記号:918. 6シ

ISBN:978-4-08-157038-6

小説の面白さを探求したアンソロジーより、「時間」をテーマにした一冊。芥川龍之介・浅田次郎・筒井康隆・星新一など、そうそうたる顔ぶれによる長編や短編が一度に楽しめます。なかでも最も短い原田宗典の砂時計にまつわる話は素敵です。



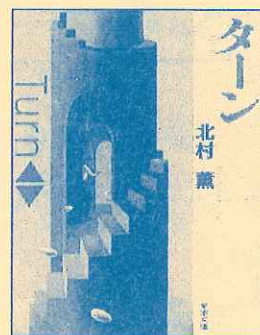
『ターン』

北村薫／著 新潮文庫 新潮社

請求記号:BGキ

ISBN:4-10-137322-1

版画家の真希はダンプに衝突し、気がつくと自宅の座椅子で目覚めていた。いつも通りの日常が訪れるはずが、そこには真希以外誰もいない世界が広がっている。どんな一日を過ごしても、事故の時刻になると、座椅子で目覚めた瞬間に戻ってしまう…。『時と人』を描いた三部作の第二弾。最後まで一気に読みたくなります。





新着図書コーナー



『走れ、オヤジ殿』

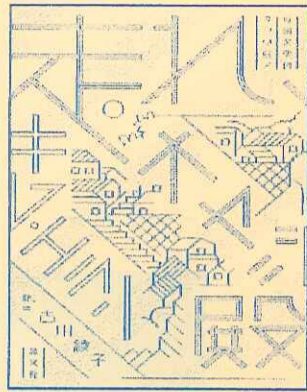
キム エラン／著 古川綾子／訳

晶文社

請求記号: 929. 1キ

ISBN: 978-4-7949-6981-1

韓国の若い作家を紹介する『韓国文学のオクリモノ』シリーズの一冊。表題作をはじめ、現代の若者のリアルな日常を描いた短編全9作品を収録。著者のキム エランは韓国内の名だたる文学賞を軒並み受賞しています。近年邦訳本が増え注目の「K文学」に是非触れてみて下さい。



『パパ入門ガイド 家族を笑顔にする』

ファザーリング・ジャパン／著 池田書店

請求記号: 599フ

ISBN: 978-4-262-16437-3

「笑っている父親が日本の子育てを変える。」という著者の冒頭の言葉に、本書が単にパパのための育児書ではないことが分かります。子育ては「家族」を超え「社会」ですることが大切。イラストや漫画も交えながらパパにしか出来ない事や体験談なども掲載。気軽に夫婦で読めます。



『認知症になった家族との暮らしかた』

よくある「困りごと」への対応がわかる』

認知症の人と家族の会／監修 ナツメ社

請求記号: 493. 7ナ

ISBN: 978-4-8163-6398-6

家族が認知症になった時に、よくある「困りごと」への接し方を様々なシーンごとに紹介。イラスト・マンガとともに描かれているので、とてもわかりやすいです。また、介護保険・民間支援サービスの利用法も掲載。介護の支えになる一冊です。



『みんなの機内食 天空のレストランへようこそ！』

機内食ドットコム／著 翔泳社

請求記号: 596キ

ISBN: 978-4-7981-5341-4

サンドウィッチから始まったとされる機内食の歴史。現在では有名シェフとのコラボなど、航空各社が工夫を凝らしたものが増えています。また各国のお国柄も反映されるため食文化の観点でも研究対象となっています。本書はWebサイトに投稿された写真を中心にまとめられています。



一般書・特集展示

「すぎなみに出会う一冊」



イベントレポート

重点収集関連イベント

「相続の心がまえ

～法律の基本を学ぶ～」

2月23日(金) 午後2時～4時



2月は、杉並に住んでいた作家の本、杉並区を舞台にした小説、杉並の川や散歩道を取りあげたエッセイ、昔の風景を撮影した写真集などをご紹介します。

それに合わせ「杉並ゆかりの文化人」DVDを特集コーナーに配置。文化・交流課よりチラシを頂き配布しました。また、産業振興センターから頂いた「中央線を歩こう」のチラシも配布。中2階の階段壁面には「杉並の作家」と題した杉並区立郷土博物館の資料の複写を展示し、作家が杉並のどこに住んでいたか地図でわかるようにしました。杉並について、さらに知見を広めていただけたらと企画しました。

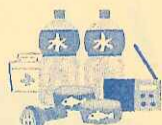
今年も弁護士の亀井時子氏をお招きし、相続に関する法律の基本事項についてお話しいただきました。参加者は熱心に話を聞いており、亀井講師も質問に的確にお答えいただきました。高齢化社会の日本。杉並区も関心の高い事柄だと参加者の皆様の様子から伝わってきました。



永福図書館では「身近な法律問題」を重点収集としています。3階上がってすぐ横に特設棚を設置しています。交通事故・相続・離婚・遺言など身近に起こり得る事柄の本を置いています。

今月のスポット展示 3/2(金)～4/4(水)

「いざという時のために～防災のヒント～」



東日本大震災以降、自助(自分の身を守る)の意識が高まり、防災関連用品や非常食が、より身近なものとなりました。改めて防災について、知識を深めてみませんか？

永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

3月の休館日

3月1日(木)、15日(木)

<永福図書館のリサイクル本について>

永福図書館では、図書館での役目を終えた本や雑誌を、皆さんに無償で提供しています。図書館1階入り口横に「リサイクルコーナー」を設け、対象となった本を出しておりますので、どうぞご活用下さい。

(リサイクル本をお持ち帰りになる際は…)

※所定の用紙に必要事項の記入をお願いします。お1人様10冊までです。

※持ち帰り用のバッグなどは各自でご用意ください。

※いつ何をリサイクルに出すかについては、手続き等の都合上お答えできません。不定期となっております。

※営利・転売目的での利用はお断りいたします。

<杉並区立図書館ホームページのご紹介>

杉並区立図書館HPでは、貸出と予約のランキングをご紹介します。過去2ヶ月に貸出や予約された図書を文学と文学以外に分けて、一般書・児童書のそれぞれ上位約100件を見ることができます。ぜひご活用ください。今月は一般書(文学)の予約ベストの一部をご紹介します。

- 1 「蜜蜂と遠雷」 恩田 陸／著 幻冬舎
- 2 「コンビニ人間」 村田 沙耶香／著 文藝春秋
- 3 「騎士団長殺し 第1部 顕れるアイデア編」 村上 春樹／著 新潮社
- 4 「マスカレード・ナイト」 東野 圭吾／著 集英社
- 5 「コーヒーが冷めないうちに」 川口 俊和／著 サンマーク出版
- 6 「九十歳。何がめでたい」 佐藤 愛子／著 小学館
- 7 「騎士団長殺し 第2部 遷ろうメタファー編」 村上 春樹／著 新潮社
- 8 「みかづき」 森 絵都／著 集英社

(2/21現在 HPより転載)

問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2018年3月号 (通巻248号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。